



2026年2月13日

各 位

会 社 名 エア・ウォーター株式会社  
代表者名 代表取締役社長 松林 良祐  
(コード：4088 東証プライム・札証)  
問合せ先 広報室長 福島 圭介  
(TEL：06-6252-3966)

### 通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2025年5月13日に開示しました2026年3月期（2025年4月1日～2026年3月31日）の通期業績予想を下記のとおり修正することとしましたので、お知らせいたします。

#### 記

#### 1. 連結業績予想数値の修正（2025年4月1日～2026年3月31日）

	売上収益	営業利益	税引前利益	親会社の所有者に帰属する当期利益	基本的1株当たり当期利益
前回発表予想（A） （2025年5月13日公表）	百万円 1,150,000	百万円 84,000	百万円 81,000	百万円 53,000	円 銭 231.28
今回修正予想（B）	1,150,000	14,000	0	△10,000	△43.52
増減額（B－A）	0	△70,000	△81,000	△63,000	－
増減率（％）	0.0	△83.3	△100.0	－	－
【ご参考】修正後前年実績 （2025年3月期）	1,061,124	61,284	59,772	37,707	164.87

#### 2. 修正の理由

当社は、2025年10月9日付の「特別調査委員会の設置に関するお知らせ」のとおり、当社グループにおいて、不適切な会計処理を確認しました。こうした事態を受け、外部専門家により構成される特別調査委員会を2025年10月9日に設置し、調査を進めております。これに加え、当社グループ全体の信頼回復と再発防止に向けて、当社ならびに連結子会社を対象とした自主点検手続（実地棚卸、財務分析等による包括点検）および内部統制の再評価（決算数値や会計処理の再点検を含む）等を進めております。

これらの状況を踏まえ、現時点で合理的に見積もり可能な影響額等を織り込み、通期連結業績予想を修正することといたしました。主な修正要因は以下のとおりです。

##### （1）のれん等の減損損失等の影響

海外事業を中心に事業進捗および将来の収益性の見通し等から、減損兆候を早期に捉え、固定資産、のれん、

無形資産等の回収可能性を検討した結果、主にのれんによる減損損失の影響を織り込みました。

(2025 年度通期 影響額：営業利益△37,800 百万円)

(2) 調査等に係る費用

特別調査委員会の運営費用、外部専門家（弁護士・会計士等）費用、追加監査対応費用、実地棚卸等に係る費用等を計上見込みです。

(2025 年度通期 影響額：営業利益△13,500 百万円)

(3) 事業戦略の見直しによる事業撤退等の影響

事業ポートフォリオの見直しを進める中で、事業環境の変化を踏まえ事業戦略を見直した結果、海外低温機器事業の撤退の影響、および海外水素関連事業への出資等の損失の影響を織り込みました。

(2025 年度通期 影響額：営業利益△6,600 百万円、税引き前利益△12,000 百万円)

(4) 在庫評価の適正化

自主点検に伴い、在庫の評価について見直しました。

(2025 年度通期 影響額：営業利益△3,700 百万円)

上記の調査および点検・再評価は継続中であり、今後の調査進展や監査手続の過程で修正事項が追加される可能性があります。業績予想に重要な変更が生じる場合には、速やかに開示いたします。

なお、配当予想につきましては、前回公表予想から変更はありません。

以 上